

宮川

まちづくり協議会だより 6月号

令和元年5月31日現在
【世帯数】 243戸
【人口】 男：343名
女：356名
合計：699名

発行日：令和元年06月15日
発行：宮川まちづくり協議会



宮川小学校が閉校しても、バスで通学する子どもたちを迎えるために、今年も生活環境整備委員会の委員さんたちは、がんばります!

5月25日

通学路 花いっぱい運動

プランターに
たくさん花を植えたよ



【特集】 宮川小学校閉校後の宮川地区敬老会
子ども神輿づくり〈新保区〉

今年の敬老会は、いつもとは違った懸案事項がありました。それは、3月に宮川小学校が閉校したために、今回小学生の参加枠が無くなったこと（来年度は未定）。いつも元気溢れる歌声を聴かせてくれた小学生たちが参加できないということで、口には出さずともみなさんの心にはなんだかもの寂しい思いがありました。おまけにプログラム構成にも空きができてしまいます。

それをどうにかしようと、まず、宮川保育園の園児たちが演目を1つ増やしてくれました。そして、老人クラブ有志の方々が昨年度の市老連芸能大会で踊った踊り2曲をもう一度練習して披露してくれました。そこになんと、今年度宮川地区老人クラブ会長の中川儀彦さんが、わずかばかりの事前練習で飛び入り参加してくれたのです。

さらに「みんなで一緒に前向きに。」という区長会長河原勝さん率いる区長会も、健康体操や総踊りに参加してくれ、今年度の会場はとても和やかで温かい空気が流れていました。

最後は中川老人クラブ会長の万歳三唱で幕を閉じました。

みなさん、また来年度の敬老会を楽しみに元気なお姿を見せてください。



敬老



小畑泰伯さん(カラオケ)



垣本昭二さん(カラオケ)



すこやかクラブ:みんなで健康体操



嶋田嘉代子さん(カラオケ)



宮川保育園 園児たちの発表



畠中美智恵さん(吟舞)



宮川老人クラブ有志(踊り)

会

令和元年6月9日



今年度の敬老会は、会場がとにかく静か（飲酒後も）！参加されたみなさんも驚かれたはず。それはきっと、今年度の敬老会の外部出演者の演目のどちらもがクラシックコンサートだったからでしょう。

森川かおるさん&鈴木麻依加さんによる「うたとピアノのコンサート」では、鈴木さんのグランドピアノ演奏に合わせて声楽科出身の森川さんがマイクを使わずに生声で外国語の歌から童謡までを歌い上げ、美しく神々しい音が降り注ぎました。

森津代志さんによるサクソ演奏では、昭和戦後の歌謡曲をトークを織り交ぜながら順を追って演奏していくスタイルで、会場のみなさんは若き日の思い出が蘇り、談笑したり目を閉じて口ずさんだりしていました。

生の音を聴く機会は貴重で、みなさん静かに聴き入っておられ、後日「本当に良かった。」という感想をいただきました。



反省会



総踊り▶



▶ 最後の中川儀彦老人クラブ会長の挨拶です。時間が押していたため、中川さんが割愛された部分も掲載します。とてもいい内容です。



これから「介護のいらぬ長生き」をするために、どうぞみなさん、各集落や公民館の活動に積極的に参加してください。世の中はITなどがどんどん進み、我々のような者が活躍する場は無くなってきているような気もしますが、今年度の宮川地区老人クラブ役員で何か役に立つことがあれば、どうぞ何でも言ってください。 宮川地区老人クラブ会長 中川 儀彦

5/24
(金)

自分たちの集落に住む子どもたちのために

新保老人クラブ 子ども神輿づくり

宮川地区の中で唯一、毎年子ども神輿を作り直しているのが、新保区です。例年午前中から新保老人クラブの皆さんが集落センターに集まり、和紙や皮を剥いた麦わらなどを器用に細工して、年長者から伝えられたやり方で神輿を作り上げています。

今回その現場にお邪魔し、新保区子ども神輿の由来や、神輿を作り続けている方の思いをお聞きしました。

【毎年作り直しているもの】 () は材料

- 鳳凰の羽毛(金紙・銀紙)
- 神輿の屋根の葺き替え(麦わら・押さえ竹)
- 神輿の屋根の四方にとまる^{ツバクロ}燕黒4羽(麦わら)
- 神輿の額・鏡(金紙・銀紙)
- 御幣(大・中・小竹と和紙)



新保区の方からお話を伺うと、新保区で子ども神輿が始まったのは明治時代の初め

だそうです。「豊年祭り」といって、昔は百姓の家の長男だけしか参加できず、長男が小学校を卒業すると次男が参加できました。女性は参加することはおろか、麦わら剥きをすることも神輿に触れることすらも禁じられていたそうです(今回の取材でも、一応触らないように心がけました)。しかし、最近は少子化の影響で、新保区では女兒も参加しています。

神輿づくりは、昔は中学を卒業してすぐ加入した青年団員が、夕方から日をまたいで夜中までずっと作り続けていたそうです。しかし、青年団が解散した20年ほど前から新保区老人クラブがそれを引き継ぎ、今にいたります。現在、老人クラブの会員が高齢化し、これから若い世代に神輿づくりのやり方を引き継いでいくことが課題だといえます。

鳥居の中には、御田の稲苗を供えます。

あまり強く押すと壊れるぞ

子どもたちが手を怪我しないように、竹の節も削ります。

新保区子ども神輿を支え続ける

河原孝さん(85)と森岡修治さん(78)

長年新保区の神輿づくりを続けてこれられているのが、河原さんと森岡さんのお二人です。取材をしようと近づくと、初めは表に出るのは嫌だと隠れられたのですが、最後は色々お話を聞かせていただきました。河原さんをご退職されてすぐの65歳の時に神輿づくりを習われ、それからかれこれ20年近く後輩にご指導されています。

「こうやって神輿づくりをすることで家を出て皆と喋ることが大切。あまり口出ししないように心がけている。」とおっしゃっていました。



◀前野満雄さんが持って来てくれた紫陽花

ほかにも、宮川地区でこんなことがありました

5月25日(土)

① まほろば陶芸隊
コミュニティーカーを利用して
越前陶芸村まつりへ



鳳足焼を教えて下さっている清水和也・
康江夫妻が出店されたので、研修に。

② いずみの会
親睦食事会



今年度は4区体制に。役員さんたちから心のこもったもてなしがありました。素敵な店内とお料理で、非日常体験を楽しみました。

5月26日(日)

① まほろばの里事業
宮川太鼓衆“華鼓宮”太鼓練習



京都から太鼓の先生に来てもらい、み
っちり指導をしてもらいました。新曲
を虫送りの時に初披露する予定です。

② 新保区 子ども神輿



5月30日(木)

① 小浜市老人クラブ連合
グラウンドゴルフ大会



宮川老人クラブからたくさんの方が前向き
に参加されました。

② 小浜美郷小 田植え体験



桑田公民館長と東前副市長が、児童た
ちの助っ人に行ってくださいました。

5月28日(火)

宮川まちづくり協議会 総会
今年度は参加した女性の方々から多く
の質疑が寄せられ、良い会議でした。

建 矢 さ ん あ り が と う

昨年の秋のこと。元公民館長の建矢
さんが、「苺のランナーを植え替えたか
ら、置いておくれ。」と、公民館にプラン
ターを置いていってくれました。苺は冬
を越し、5月には真っ赤な実をたくさん。
苺の苗が、こんなに可愛い笑顔に変わ
りました。

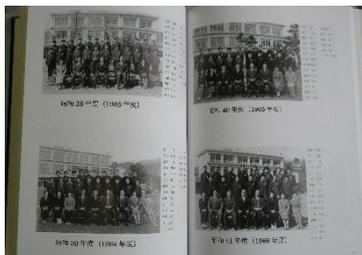


閉校記念事業実行委員会より

宮川小学校閉校記念誌販売のお知らせ

地区外にお住い
のご親族の方に
いかがですか

半年以上かけて制作してきた閉校記念誌がとうとう完成しました。
宮川地区民の皆さんには、すでに全世帯に配布していただいております。
つきましては、在庫分をご希望の方に販売いたします。
なにぶん在庫に限りがあるため、先着順になりますこと、ご了承ください。



歴代卒業写真 & 卒業生名簿



思い出の写真

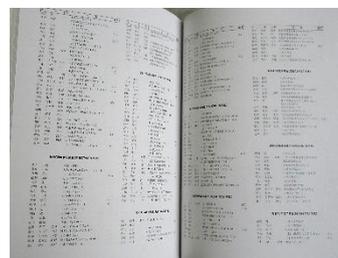
1冊 2500円(税込)
先着 100冊

※ 郵送をご希望の場合、郵便局の
「レターパックライト(360円)」を
使うと最安値で郵送できます。

☞ご希望の方は宮川公民館まで



表紙



卒業生名簿

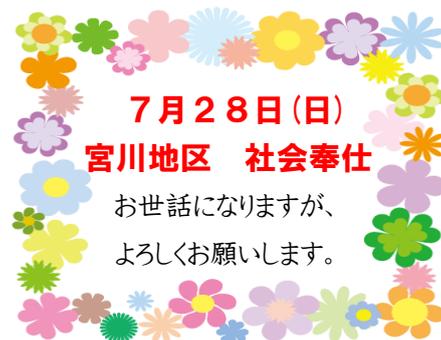
お知らせ

7月 行事予定

- 9 (火) すくすく広場 (09:30～、宮川保育園)
- 11・25 (木) 小浜病院巡回診療日 (14:00～、宮川公民館)
- 16 (火) 100歳体操 (10:00～、宮川公民館)

7月の
休館日

- 1 (月)、8 (月)、15 (月・祝日)、
- 16 (火・振替休館日)、21(第3日曜日)
- 22(月)、29 (月)



7月28日(日)
宮川地区 社会奉仕

お世話になりますが、
よろしく願います。

編集後記

季節の花がこれほど美しいことに 歳をとるまで少しも気づかなかった
美しく老いてゆくことがどれ程に 難しいかということさえ気づかなかった
もしももう一度だけ若さをくれると言われても おそらく私はそっと断るだろう
若き日のときめきや迷いをもう一度繰り返すなんて それはもう望むものではない
それが人生の秘密 それが人生の贈物
森川かおるさんがアンコールで歌ってくれた『人生の贈り物』の歌詞(1番)です。(Y)

